

# 2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 愛媛県 】

学校名【 愛媛県立東温高等学校 】

1 実践テーマ	I ・ II ・ <b>III</b> ・ IV ・ V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	普通科スポーツ健康類型 第1・2学年 72名 (1年 男子28名・女子10名、2年 男子24名・女子10名) 保健体育科教員 3名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 保健体育【専門体育】 ) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	2020年東京オリンピック・パラリンピックを間近に控え、生徒のオリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高めること、特に実際にスポーツを体験することにより、よりスポーツの価値の理解が深まることをねらいとしている。
5 取組内容	(1) 事前指導 ・ゴールボールとは？ 「かんたん！ ゴールボールガイド」（公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会）によるルール等の説明 ・動画による、実際のプレーを視聴 「ゴールボールってどんなスポーツ？」（一般社団法人 日本ゴールボール協会）等を視聴



(2) 活動当日

- 2年生によるコート作り



- 基本的動作の確認

転がってくるボールをどのように守るかを中心に実施。



- ゲーム形式での活動

2コート4グループでゲームを実施。

1ゲームを攻撃1回、守備1回の特別ルールで実施。



(3) 事後指導

- 感想をまとめる。

6 主な成果

事前指導において、動画で実際のプレーを視聴したことは効果があったように感じる。当日の活動で、説明がなくてもスムーズにプレーできた。コート作りについても生徒が事前に準備してくれておかげで問題なく完了することができた。

日頃、触れたことない鈴入りのボールやアイシェードを使用できたことは、障がいへの理解が深まったように思う。また、実施にプレーできたことは、競技への興味・関心につながったと思う。

2学年で一緒にプレーできたことは、スポーツの意義や価値にも気づく、きっかけになったと考える。

<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>本校の特色である「スポーツ健康類型」の専門体育を利用したいと考えていました。 スポーツ健康類型の生徒が、実際にスポーツを体験することが、一番の学びにつながると思い、実施しました。生徒は、授業でオリンピック種目を経験する機会が多いため、ぜひパラリンピック種目を体験させたかったです。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>日程調整の難しさを感じました。特に授業や学校行事兼ね合いで、実施が遅れがちになってしまった。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>今回、生徒が意欲的に活動してくれたため、その他のパラリンピック種目も体験させていきたいと考えています。</p>